

茨城県修正履歴

連番	対応Ver	日付	対象帳票	問い合わせ内容	修正内容	備考
1	4.4.0ver02	2009-06-16	国保請求書	—	保険番号283,285,289は公費再掲欄へ「90」としてまとめて記載する	
2	4.4.0ver03	2009-11-27	国保請求書	システム管理マスタ「2007」でまとめ公費を設定したのにも関わらず、公費がまとまらない。	システム管理マスタ「2007」で6つ以上の公費を設定してもまとまるように修正。	
			後期高齢者請求書	システム管理マスタ「2007」でまとめ公費を設定したのにも関わらず、公費がまとまらない。	システム管理マスタ「2007」で6つ以上の公費を設定してもまとまるように修正。	
3	4.5.0ver01	2010-03-17	後期高齢者請求書		「44 総括表・公費請求書」の広域総括表の個別指定保険者番号対応。	
4	4.5.0ver02	2010-07-27	国保総括表	オンライン請求時、「43 請求管理」の返戻チェックボックスで「返戻有」としても帳票へ集計される。	オンライン請求時の返戻対応。	
			国保請求書	オンライン請求時、「43 請求管理」の返戻チェックボックスで「返戻有」としても帳票へ集計される。	オンライン請求時の返戻対応。	
			後期高齢者請求書	オンライン請求時、「43 請求管理」の返戻チェックボックスで「返戻有」としても帳票へ集計される。	オンライン請求時の返戻対応。	
5	4.5.0ver03	2010-09-17			Lucid Lynxでインストール時、アンインストール時のメッセージの文字化け対応。	
			国保請求書		Lucid Lynxで印刷した場合、マル文字がずれるのを修正。	
6	4.5.0ver04	2010-10-26	国保総括表	保険番号180,190,192の公費が集計されていない。	システム管理マスタ「2010」で地方公費の公費再掲欄への記載が設定できるようにする。	
			国保請求書		システム管理マスタ「2010」で地方公費の公費再掲欄への記載が設定できるようにする。	
					罰線微調整。	
			後期高齢者請求書		システム管理マスタ「2010」で地方公費の公費再掲欄への記載が設定できるようにする。	
					罰線微調整。	
7	4.5.0ver05	2011-01-25	国保総括表	特別療養費国保の対応。	特別療養費国保は帳票を分けて集計するように修正。	
			国保請求書	特別療養費国保の対応。	特別療養費国保は帳票を分けて集計するように修正。	
8	4.5.0ver06	2011-03-29	国保請求書	「東北地方太平洋沖地震」の対応。	対象者（保険者が特定できない、保険者の記号番号が確認できない、減免対象者等）は別集計とするように修正。	
9	4.5.0ver07	2011-04-05	国保総括表	「東北地方太平洋沖地震」の対応。	「災1」「災2」「(不詳)(不詳・災1)で保険者特定」と「(不詳)(不詳・災1)で保険者未確認」と「記載無し」で別集計とするように修正。	
10	4.6.0ver01	2011-08-19	国保請求書	法別80番台は「80」とし、法別90番台は「90」として公費再掲欄にまとめて集計する。	システム管理マスター「2007 公費番号まとめ記載情報」は考慮せず、公費をまとめて記載する。	
11	4.7.0ver01	2012-11-08	医療福祉費請求書		不要の為削除	
			国保総括表		日レセVer4.7.0対応(monpe-0.6.20対応)	
			国保請求書		日レセVer4.7.0対応(monpe-0.6.20対応)	
			後期高齢者請求書		日レセVer4.7.0対応(monpe-0.6.20対応)	
12	1.00	2013-04-18	国保総括表		プラグイン対応。	
					システム管理マスタ「1901」で設定した医療機関名と医療機関住所が2行目からずれるのを修正。	
			国保請求書		プラグイン対応。	
					システム管理マスタ「1901」で設定した医療機関名と医療機関住所が2行目からずれるのを修正。	
			後期高齢者請求書		プラグイン対応。	
					システム管理マスタ「1901」で設定した医療機関名と医療機関住所が2行目からずれるのを修正。	
13	1.01	2013-05-20	—	—	プラグインでのインストール時に「101 システム管理マスタ」-「3004 県単独事業情報」の登録を行う。	

茨城県修正履歴

連番	対応Ver	日付	対象帳票	問い合わせ内容	修正内容	備考
14	4.6.Over02 1.02	2013-08-20	国保総括表	区分欄の「後期医療福祉」「後期公費負担」の文字が印字されない。	印字するように修正。	
			国保請求書		設定項目はINIファイルからではなく、プログラムオプションから取得するように修正。	1.02のみ
15	1.03	2014-05-27	国保請求書		平成26年4月2日以降に新たに70歳となる前期高齢者8割該当者は「70歳以上一般・低所得」欄(9割と同様)へ集計するように修正。	
			—		プラグインにおいてファイルコピー等でエラーとなった場合、不要なファイルが残っていたので削除するように修正。	
16	1.04	2014-09-19	国保総括表		再印刷画面の帳票タイトルに「返戻」の追記。	
			国保請求書		再印刷画面の帳票タイトルに「返戻」の追記。	
			—		プラグインでのプログラム削除時にシステム管理マスタ「3004 県単独事業情報」の設定の削除を行う。 (注意:2014-07-24のパッチを適用していない場合、次のプラグインでの更新時に「3004 県単独事業情報」の設定が初期状態に戻ります)	
17	2.00	2014-11-10	国保総括表		日レセVer4.8.0対応(一時ディレクトリ変更)	
			国保請求書		日レセVer4.8.0対応(一時ディレクトリ変更)	
			後期高齢者請求書		日レセVer4.8.0対応(一時ディレクトリ変更)	
			—		ruby1.9対応	
18	1.05 2.01	2015-04-20	光ディスク等送付書	新規作成。	新規作成。	http://ftp.orca.med.or.jp/pub/data/receipt/chihoukouhi/p08/2010-09-25-ibaraki.pdf
			—		プログラムオプション更新対応。	
			—		プログラムオプショングループ診療対応。	
19	1.06 2.02	2015-07-17	光ディスク等送付書	医療機関コードが7桁で表示されるが、ハイフン付きの9桁で表示して欲しい。	医療機関コードの修正。	
				下部の文面は「※1 本送付書は、点数表区分別に作成すること。」ではなく「点数区分別」である。	誤字修正。	
			—		システム管理マスタ「3004」の自動登録・削除機能のグループ診療対応。	
20	3.00	2017-01-20	—		日レセver5.0.0対応。	
21	2.03 3.01	2017-06-20	国保総括表		システム管理マスタ「1901」の開設者の参照対応。	
					医療機関コード変更時、医療機関コード別の作成処理対応。	
			国保請求書		システム管理マスタ「1901」の開設者の参照対応。	
					医療機関コード変更時、医療機関コード別の作成処理対応。	
			後期高齢者請求書		システム管理マスタ「1901」の開設者の参照対応。	
					システム管理マスタ「2007」の公費番号の設定数増加対応	
					医療機関コード変更時、医療機関コード別の作成処理対応。	
			光ディスク等送付書		システム管理マスタ「1901」の開設者の参照対応。	
					医療機関コード変更時、医療機関コード別の作成処理対応。	
22	2.04 3.02	2018-03-20	国保総括表		バッチ処理ログ画面へログ出力を行うよう対応。	3.02のみ

茨城県修正履歴

連番	対応Ver	日付	対象帳票	問い合わせ内容	修正内容	備考
					SITEKBN変更(動作に変更なし)	
			国保請求書		バッチ処理ログ画面へログ出力を行うよう対応。	3.02のみ
					SITEKBN変更(動作に変更なし)	
			後期高齢者請求書		バッチ処理ログ画面へログ出力を行うよう対応。	3.02のみ
					SITEKBN変更(動作に変更なし)	
			光ディスク等送付書		バッチ処理ログ画面へログ出力を行うよう対応。	3.02のみ
					SITEKBN変更(動作に変更なし)	
23	2.05 3.03	2018-08-20	国保総括表		請求管理テーブルのクローズ漏れ対応(稀にエラーとなる問題の修正)	
24	3.04	2018-10-19	国保総括表		修正履歴コメント削除	
			国保請求書		修正履歴コメント削除	
				公費負担医療欄の法別番号が保険番号マスタの有効期間内の値と一致していない。	保険番号マスタの取得の修正。	
			後期高齢者請求書		修正履歴コメント削除	
			光ディスク等送付書		修正履歴コメント削除	
25	4.00	2018-12-20	—		日レセver5.1.0対応。	
26	3.05 4.01	2019-12-20	—		プラグインのインストール時に「3004 県単独事業情報」の標準総括表印刷指示の設定を行うように対応。	